

千葉大学病院で慢性疼痛の治療を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年9月20日
麻酔・疼痛・緩和医療科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、慢性疼痛に対する強オピオイド（モルヒネ、フェンタニル、オキシコドン、リン酸コデイン製剤）処方現状と減量方法に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年11月1日～2022年12月31日の間に慢性疼痛と診断され
麻酔・疼痛・緩和医療科で治療を受けた方

1. 研究課題名

「当科における慢性疼痛に対する強オピオイド処方現状と減量の実績：後方視的観察研究」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

非がん性慢性疼痛に対する強オピオイド使用は、短期間であれば痛みと身体機能を改善させますが、長期投与になると副作用や依存・乱用、過量服用によるリスクを増加させると言われています。当科における慢性疼痛に対する強オピオイド処方現状を知り、適正な使用方法を検討するとともに、強オピオイドの減量方法を探索し、今後の診療に応用することを目的として研究を行います。

2020年11月1日～2022年12月31日の間に慢性疼痛に対して強オピオイドによる治療を受けられた方を対象とし、診療録に記載されている情報を調べます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、氏名等と研究IDの対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療情報：年齢、性別、身長・体重、病名、基礎疾患、既往歴、強オピオイド種類、強オピオイド使用量（経口モルヒネ換算）、使用期間、副作用

強オピオイド減量のための介入方法（神経ブロック、リハビリテーション・運動指導、認知行動療法、手術、強オピオイド以外の薬剤投与）

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：麻酔・疼痛・緩和医療科 准教授 田口 奈津子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なく

お申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科

医師 山田ことの

043(222)7171 内線6771